



膨張したおちんぽに囲まれて

あ、待って
お口はひとつしかないの♡

妻の浮気は

みつ 愛液の味³

美代さんの場合

カラー27ページ

ああ、結婚してもう3年か...

そういえば仕事仕事であまりかまってやれてなかったな

ここ1年位はセックスも...

美代は...

小柄だけどいい体してるんだ

胸はでかくて、ピンク色の乳首が
ツンと上を向いて...
歩くたびに揺れるんだよなあ...

腰はキュツと締まって

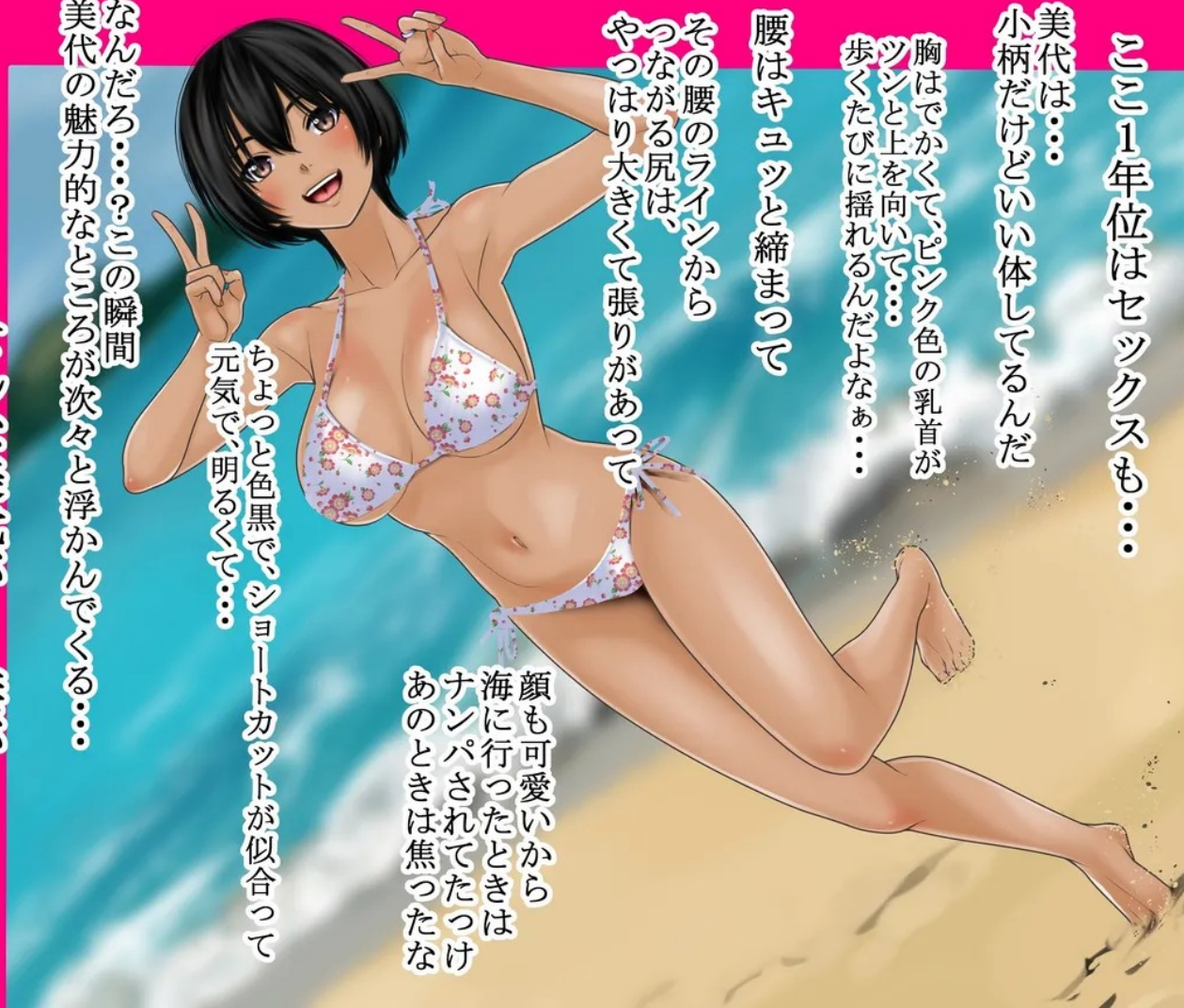
その腰のラインから
つながる尻は、
やつはり大きくて張りがあって

顔も可愛いから
海に行ったときは
ナンパされてたっけ
あときは焦ったな

ちよつと色黒で、ショートカットが似合って
元気で、明るくて...

なんだろ...?この瞬間
美代の魅力的なところが次々と浮かんでくる...

そんな美代が...妻が...
他の男に抱かれている...!?





相当男に飢えてたんじゃね？

シャワーも浴びずに
ソッコー抱き合っつてさ、濃厚なキッス！

俺のちんぼシゴきながら
旦那に電話してんのw

べろっべろのぐっちよぐちよに
舌絡ませてさ

ごめんねえ、遅くなるうってw



ちよつとした飲み会で
知り合っつてさ

人妻でさ、
ちよつと無理目かなって
思っただけど

2次会フケて
ホテル直行w

話してるとちに
妙にいい雰囲気になってさ

なんかへむこうも
その気だったらしくてさ

喜んで
ついてきたぜw

旦那かわいいそつww
そしてご馳走様つww

こいつが可愛い顔して
めつちや淫乱でさ

自分から俺の腰に跨って
ちんぽ握つてさ

ぐつちよぐちよに濡れた
おま○こに...

自分から腰を落として
きゅらつてきゅきゅらつて締め付けるんだぜ？

「はいっちやっただあ♡」

すげえよなw
他人ちんぽを躊躇なく啜え込む人妻つw





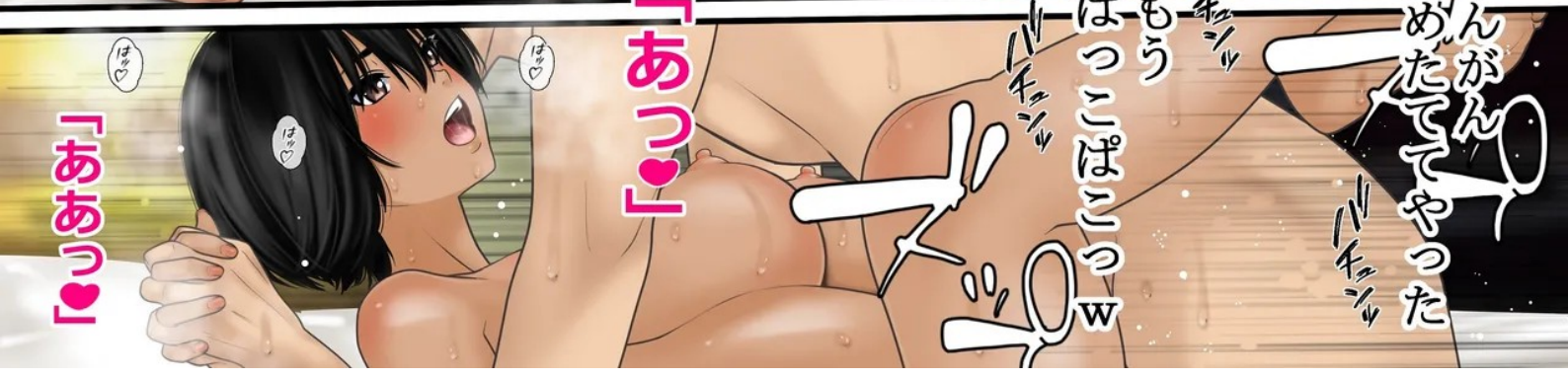
そうなるも当然
こつちも負けてられねえつてな
「へへ、まだまだたあつぷり
犯してやるっ！」

ちんぽに飢えて
涎をたらしてる人妻ま〇こを

「んっ♡そっ♡」

「あっ♡」

「んっ♡」



がんがんでやった
責めたててやった

もう
ぱっ♡ぱっ♡w

「あっ♡」

「んっ♡」

んっ♡

んっ♡

んっ♡



強い衝撃を受けた…

妻が、美代が俺以外の男とセックスを…こんなに淫らに…

突然に知らされた妻の浮気裏切り…

でも、もつと衝撃だったのはなぜ、何故

俺の股間はこんなに膨らんでいるんだ!?

友人は昔から女をコマすのがうまかった

自分好みに躰け、遊ぶだけ遊ぶ

このまま放つとけば美代はどうなって、どうされてしまうのか…?

食い入る様に動画を見つめる俺に

「気に入ったか? また見せてやるよw」と苦笑いしながらヤツは言った

「旦那は?」

「ん〜いつも仕事仕事で」

「ふ〜ん」

「私に興味ないのか…」

「え〜っ!マジでっ!?!? こんないい女もつたいない!」

「ふふ、ありがとう」

「じゃ、俺のセフレになれよ」

「え〜…」

「だって俺ら相性ばっちりじゃん? なっ?」

「…いいじゃん」

「よっしやつ! やりまくるぞっ!」

「え〜❤️」





「ただいま……」

「あ、あなた
お帰りい」

その日、俺を出迎えた妻の息は
妙に熱く、荒れていた

上気した顔
艶っぽく火照る体

ツーンと滴る汗……

「きよ、今日は早かったね？」

まるで裸に慌てて
取り繕ったような服装

その原因を、俺は知っている……

美代の浮気を知ってから
俺は自宅にカメラを仕掛けた

「待ってたっ!」

ある日、妻に内緒で仕事を休み
監視することに、すると

さほど待つまでもなく
その場面はやってきた

「少しは我慢しろって
毎度毎度w」

「なんだよおまえ
もう全裸w?」

待ちきれなかったのか
すでに全裸になり
はしゃいで迎え入れる妻と
自宅のようにくつろぐヤツ

夫婦のソファに座り
肌と肌を擦り付け
甘えた声で囁く...

カメラから流れてくる
妻の浮気映像...っ!!

「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」

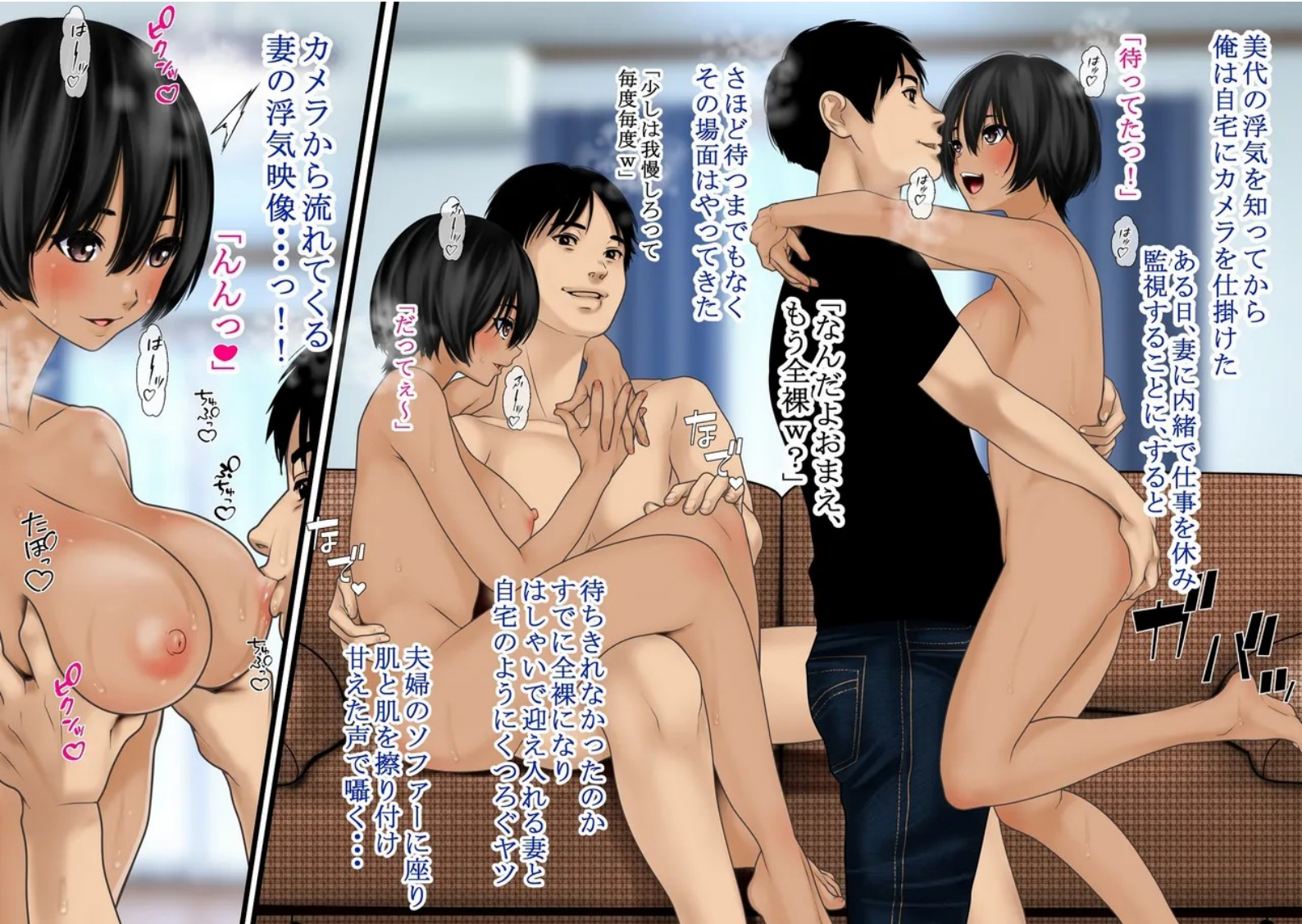
「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」



それほどにヤツを求めていたのか

会って10分もせずに
肉棒を咥え、ご奉仕を開始

「ラエラ」

「ん？」

「うまくなったじゃん」

「んんん」

はしたなくがつつく妻
もう夢中だ……



「んんん」

「もうおま○
汁塗れじゃんw」

さらに進展
ふたりは互いの性器を食りあう
互いに互いの弱いところを
責める、責められる

肉に吸い付き涎を吸る
下品な音が、荒い息遣いが
室内に響く

恍惚とした表情で
必死に頭を上下させる妻
ああ……妻のかわいい口が
あいつの肉棒を……!!

「んんん」

「んんん」

「んんん」

「んんん」

「んんん」

「んんん」



ネットリとした愛撫は
たつぷりと時間を掛けて
行われた

友人の顔が妻の愛液に塗れて
てかてかに光っている

「ほら欲しいか？
ん？ん？」

「んっ欲しい
んんっ♡」

「どうしよつかなあw？」

感じやすい妻のアソコは
もう既にふにやふにやに蕩けて
いるだろう

欲しくて欲しくてたまらない、
ひくひくと痙攣し
卑猥な音をたてる妻のアソコに…

肉棒が…
俺以外のちんぽがっ！

「んんっ♡」

いま…
ねじ込まれた…っ！



「あーっ」

「うっ、あーっ」

「うっ、あーっ」

うっ、あーっ

「うっ、あーっ」

「うっ、あーっ」

「うっ、あーっ」



「うっ、あーっ」

「あーっ」

うっ、あーっ

うっ、あーっ

うっ、あーっ

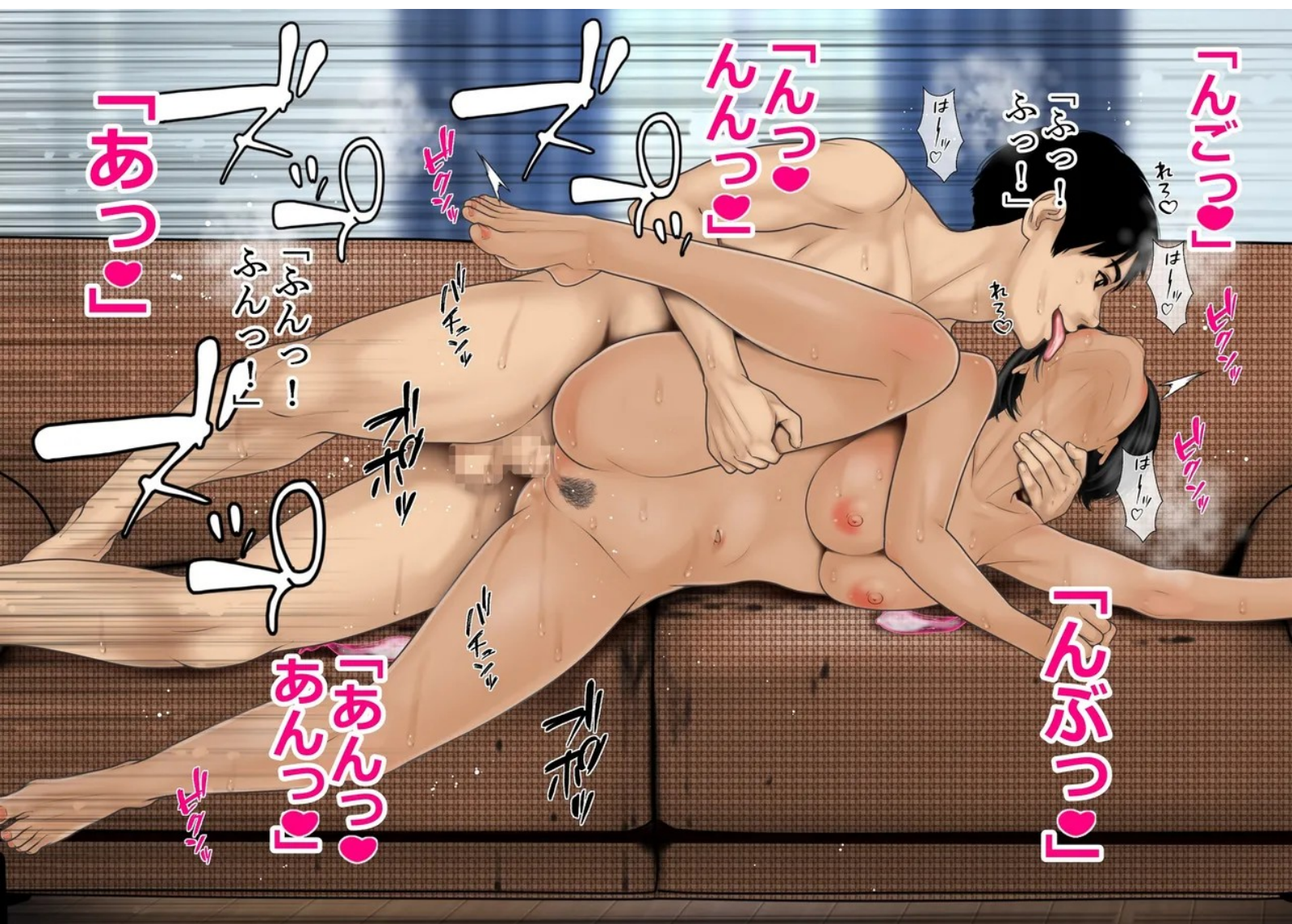
うっ、あーっ

「うっ、あーっ」

「あーっ」

うっ、あーっ

「あーっ」



「んんんんん」

びんびん

「んんんんん」

「んんんんん」

「あんんんん」
「あんんんん」

「あんんんん」

「あんんんん」
「あんんんん」

えっ♡

えっ♡

ほっ♡

びんびん

びんびん

びんびん

びんびん

びんびん

あんんんん

びんびん





ふたりの性交は長く続いた
アイツは何度もなんども
美代を抱き、味わった

美代は美代で
アイツのすべての要求に
欲求に献身的に応えた

「ふ〜」
射精した射精したあ〜

そう、正に
ふたりは愛し合っていた

「やっぱおまえ
サイコーだわw」

「はふ……」

「う……」

「あ〜……」

「んふ〜」

俺はそれを見て……

車に轢かれた蛙のように
無様にうつ伏せる妻を見て……

「ふ〜」

「ふ〜」

「ふ〜」

なんども……
何度も射精した……

見慣れた。。。いや飽きたはずの
妻の体が。。。とても魅力的に見えた

他人のモノになった妻に
胸が高鳴る、股間が膨らむ

妻と離れているときに思う
ああ、いまだんなことをしているんだ？
なにをされているんだ？

俺がしたことのないような
俺にしたことがないような
とても淫猥で激しい行為を。。。
そんな妻を想像すると

仕事を手につかず
トイレに駆け込むこともしばしば

他人の手に染められていく妻を見るのが
とても切なく、そして愉しい。。。

俺はその後妻の浮気を知らぬ存ぜぬでとおした
俺の知らない妻をもっと、もっと見たい。。。っ！





彼ったら急に「コンドーム一箱持って外に立ってる」って言うの

もうっ、こんなえっちな格好でそんなことしたら、ほら……

男のひとたちが私の体をイヤらしい目で管め回すように見てくる
ああ……視姦^{みかん}られてる……

ああ、私これからこのひとたちに……

なんかすごく雑にナンプされちゃって

いっぱい……されちゃうんだ



いっぱい…犯されちゃった♥

大学生位のコたちだったから
すぐく元気で、回復も早くて

両手にちんぽ♥
おま○こにも当然ちんぽ♥

許してくれないの、絶対に
疲れても、次、次いつて
ふふ、
彼らの上になったり下になったり

複数のおちんぽが
私の中に
出たり、入ったり♥

はっ♥

はっ♥

はっ♥

はっ♥

はっ♥

はっ♥

はっ♥

はっ♥

はっ♥

はっ♥

はっ♥

はっ♥

はっ♥



「ほら、奥さん
ピース、ピースw」

「いや、ほんとエロいな
この人妻w」



「ほ……♡」

「あへ……♡」

「すげえだろ
俺の玩具w」

「サイコーっす
また貸して下さいよw」

「いいけど壊すなよ？
まだまだ使うんだからな」



大学生の彼らとはその後も何回か会ったんだ
新しいひとでも何人か入れ替わりで来て

「旦那は？」

「出張でいないの」

2人だったり3人だったり

彼(保護者)なしで会ったから
最初はちよつと緊張しちゃった

「じゃ、朝までだなw」

でもすつこくヨク
してくれるんだよ、ふふ





「はくはく、たまらんっ！」

「何回犯った？」

「ゴムは…
使い切ったな」

「買いに行く？」

「んっ♡」

「んっ♡」

「や、もう生で
いんじゃない？」



「あ、奥さん電話」

「旦那じゃね？」

「ほれ、
早よ出るw」

「あゝあゝ…♡」

「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」

美代が家を留守にしていることを知っていた俺は出張先から電話を入れてみた

そろそろかな、という時間帯を狙って

電話口の美代の声は上擦って息が熱く、荒れていた

電話の先に誰かの気配を感じる……ああ、美代っ！

「はやく切れって犯りてえ」

「うん、んっ
そ、そう」

一生懸命取り繕っているんだろう俺にバレないように

でも全くできていない会話の節々に抑えた嬌声が混じる

美代……美代お

来週には帰るからそれまで……

たっふりと犯されていってくれ

「ほい……あ、あなたあ……」

「うん、うんっ」

「いのケツ」



出張から帰るといちようど

自宅に着いたタイミングで友人から動画が届いた

美代ちゃん
ほらピースピースw

おはーい♡

はーい♡

はーい♡

はーい♡

んおが♡

はーい♡

はーい♡

はーい♡

0:08

0:1

「ただいま……」

「おかえりなさい」

ついさっきまで行われていた妻の浮気
晒されていた美代の痴態……

ああ、もうだめだ
今夜、妻に告白しよう

「あなた」

はーい♡



そして、これからは
俺の目の前で……